

カナダ バイオテクセミナー

再生医療および疼痛治療薬

2018年10月12日 12:05 - 12:35

セミナーステージ C

主催：在日カナダ大使館

12:05 次世代3Dプリンティングによるオンデマンドのヒト組織提供

[アспект・バイオシステムズ](#)社 社長兼 CEO テイマー・モハメド氏

動物を利用しない医薬品開発や、臓器提供を待つことなく自分の細胞から3D印刷した臓器を用いた臓器移植治療が可能な世界を想像してみたい。アспект・バイオシステムズ社の学際的なチームは、そのような世界の実現に向けて研究に取り組んでいる。Lab-on-a-Printer™とよばれる3Dバイオプリンティングに独自のマイクロ流体アプローチを用いて、アспект社は創薬の効率を向上させ、かつ病気組織や疲弊した組織の代替となる移植可能な組織をつくるため、生体組織の3Dプリント技術を開発している。本講演では、アспект社社長、モハメド氏が同社の3Dプリント技術の概要を論じるとともに、オンデマンドなヒト生体組織の提供による再生医療、個別化医療、疾病研究、創薬などの分野に革命的な変化をもたらすバイオプリンティングの可能性を示唆する実際のケースについて紹介する。

12:20 鎮痛薬に革命をもたらす Halneuron

[ウェックス・ファーマシューティカルズ](#)社 チーフオペレーティングオフィサー ウォルター・コッツ氏

ウェックス・ファーマシューティカルズ社は、中等度から重度の慢性疼痛の治療のための新薬 Halneuron™を開発している。Halneuron™は、特許保護されたベストインクラスとなりうる革命的な非オピオイド鎮痛薬である。効果の持続性が高く、安全性プロファイルが優れていることが特徴である。Halneuron™は、現在化学療法による神経性疼痛を対象にフェーズ III を実施中である。また、癌性疼痛の治療に関しても開発を行っていることから臨床データの蓄積がある。Halneuron™は、広範囲にわたる臨床薬理試験を行っており、詳細なQTc試験では、一般的あるいは心臓系の安全性に関わる懸念は示されず、かつ長期的な毒性試験も完了している。モデル、ヒトでの薬効及び安全性データも完備しており、商業スケールでのGMP製造プロセスも確立している。ウェックス社は、日本、中国、アジア太平洋州、あるいは全世界での開発と販売のパートナーシップを求めている。

12:35 閉会

内容は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
ご面談のお申し込み、お問い合わせ: TOKYOHEALTH/SANTE@international.gc.ca